

な か ま

第48号

2014年
7月28日

なかま編集委員会
土山友幸
(JP労組大森分会所属)

大会議論白熱 次の一撃を

現場を理解しない労働代官いらぬ

人間らしく働ける職場づくり すべての労働者の共同作業で

大森郵便局ではたらく仲間のみなさん、おはようございます。夏季繁忙のゆうパックが昨年以上に増えているのに、見合った人員配置がされていません。小包配達も集配部を頼りの状況だし、郵便部も人手不足で伝送・小包係に例年並みの増配置がでさず、大混乱です。超勤を出せばよいという問題ではありません。猛暑がつづくなか健康管理が第一、熱中症には気をつけましょう。6月全国大会でも職場課題で議論が白熱しました。他方、JP労組本部の裏切りに泣かされる労働者もいます。全国で裁判闘争などが闘われています。現場的に連帯しましょう。

新賃金ベア 傾斜配分で分断策

3月早々に終結した今春闘ですが、ベア妥結額も超低水準の1000円(0.33%)でした。その「配分交渉」も妥結し、8月期給与で4月分までさかのぼって精算されます。ただし、この「配分」が問題なのです。ベア1000円というのはあくまで平均額であって、全体への配分は、低位号俸を厚くし高位号俸に薄くする傾斜配分となっています。3100円から400円まで差をつけています。これは会社側の主張である「若年層の処遇改善や新人事・給与制度の趣旨に則った配分をしたい」

が反映されているのです。だが、高齢者は55歳で定期昇給も終わりですから、ベースアップが400円では話になりません。一律に底上げが基本です。さらに、「新一般職群は競合他社との採用競争力向上の観点から厚く配分した」とも言っています。そんな問題をベア配分に絡めるなど言いた

《新賃金配分交渉の妥結内容》

- ・**新一般職群**
1号俸に3000円を配分し、号俸が上がるにつれて傾斜配分し、29号俸以上は一律1000円を配分する。
- ・**一般職群1級**
1号俸に3100円を配分し、号俸が上がるにつれて傾斜配分し、74号俸以上は一律400円を配分する。
- ・**一般職群2級**
1号俸に1400円を配分し、号俸が上がるにつれて傾斜配分し、86号俸以上は一律400円を配分する。
- ・**一般職群3, 4級**
1号俸に1400円を配分し、号俸が上がるにつれて傾斜配分し、94号俸以上は一律600円を配分する。
- ・**企画職群**
一般職群と対応する級、号俸に一般職群と同額を配分する。
- ・**短時間社員**
一般職群1級に準じた改定を行う。
(*JP労組新聞第149号より。同2面に基本給表が掲載。)

新給与ポイント制に疑問続出!

新人事・給与制度が4月に導入され、業績手当が実際に反映するのは6月期給与からでした。以前から集配部の業績ポイントのつけ方には誰もが疑問視していました。取扱物数の業績への反映のさせ方が客観的整合性に欠け、不公平性が否めな

い。そもそも「新一般職」を新設した動機自体が正社員の総人件費を抑えるためだったのだから、「他社との採用競合のため」というのなら制度的に賃金水準そのものを

新人・給与制度が4月に導入され、業績手当が実際に反映するのは6月期給与からでした。以前から集配部の業績ポイントのつけ方には誰もが疑問視していました。取扱物数の業績への反映のさせ方が客観的整合性に欠け、不公平性が否めな

見直すべきではありませんか。しかも、非正規職制度を温存したままでの「救済」はまったくベテランであり、だから「新一般職」制度の導入そのものに反対します。



【2面「続き」あり】

